

とらのもん

- 新年のご挨拶（院長）（分院長）
- 先端巨大症の治療のいま
- 白血病（骨髄・臍帯血移植）を乗り越えるための新たな取り組み
- 人間ドックの割引



〈初日の出〉

基本理念：医学への精進と貢献、病者への献身と奉仕を旨とし、
その時代時代になしうる最良の医療を提供すること

公開講座のお知らせ

『先端巨大症の治療のいま』

—手・足・顔 ちょっとした症状を見逃さないで—

間脳下垂体外科部長 山田 正三

『白血病（骨髄・臍帯血移植）を 乗り越えるための新たな取り組み』

血液内科医長 和氣 敦

日時：1月16日（土）14:00 – 15:30

場所：本院 本館3階 講堂（入場料無料）

※諸般の事情により、変更・延期・中止になる場合がございます。
お電話・ホームページ等で開催の有無をご確認下さい。



新年のご挨拶

院長 山口 徹

明けましておめでとうございます。
本年もよろしくお願ひします。

昨年の「今年の漢字」は「新」だったそうですが、新政権の医療改革の内容は未だ不透明で、病院は新型インフルエンザ騒動で大忙しです。皆様は健やかな新年をお迎えでしょうか。今年の干支は虎の門病院に馴染みのある寅ですが、虎の病院にとっても新しい歩みが始まる年であって欲しいと願っています。

虎ノ門二丁目地区の再開発協議会が発足し、新病院建設への動きが少しずつ始まっています。院内に新病院準備委員会を作り、病院の名前に因んでTIGER projectと名付けられた新病院構想を煮詰めています。新病院のイメージも「時代を担う高度な専門性と総合力のリーディングホスピタル」としました。新病院までは数年掛かると思われますが、職員一丸となって新病院建設を目指してゆきます。

昨年は急性期病院の基本となる7:1の新しい看護体制を本院、分院共に整備でき、また日本医療機能評価機構による病院機能評価も滞りなく再認定を受けることができました。この病院機能評価を受けるにあって、従来の「院内禁煙」から「敷地内禁煙」へより厳しい禁煙体制としました。受動喫煙の防止策を議論してきた厚生労働省の検討会も公共施設の全面禁煙を求めており、皆さんの健康のためにも、禁煙の流れを加速してゆく必要があります。よろしくご理解をお願い致します。また禁煙治療を希望される方は禁煙外来でご相談下さい。

医療連携部では医療相談、検査・服薬相談などを気兼ねなくご相談いただける体制を整備してきましたが、人間ドックの受付、申込も行っていきます。地下鉄虎ノ門駅傍の虎ノ門清和ビル内に作られた健康管理センター・画像診断センターは、広くゆったりとしたスペースにPET-CT、MRI、CTなど最新機器が導入されています。人間ドックで発見された異常は病院で精密検査され、必要があればフォローアップ外来で経過観察され、虎の門病院の高い診療レベルがここでも生かされています。是非ご利用下さい。

新型インフルエンザが猛威をふるっています。

す。抵抗力の弱い入院患者さんを新型インフルエンザから守るために、面会の制限などご協力をお願いしていますので、よろしくお願ひ致します。新型インフルエンザワクチンもようやく必要量を確保できそうな状況となってきました。最優先接種の小児、妊婦、基礎疾患のある方以外の一般の方にも、遠からず接種が可能となりそうです。ワクチン接種の状況はホームページに掲載されますので、ご希望の方はホームページでご確認下さい。

虎ノ門と新橋を結ぶ環状二号線（通称「マッকারサー道路」）整備事業を東京都が進めています。道路予定地上にある正面玄関前の北館（旧健康管理センター）の土地、建物が今年収用され建物が取り壊されます。玄関付近の様相が大きく変わる工事となります。皆さんにご迷惑をお掛けいたしますが、よろしくご協力をお願い致します。

幸い昨年大きな医療事故はありませんでした。感染対策チーム、褥創予防対策チーム、栄養サポートチーム、人工呼吸器安全管理小委員会などの定期的巡回により医療安全を二重三重にチェックする体制を築いてきました。しかし医療に100%の安全、100%の成功はありません。患者の皆さんのご協力の下に、医療安全を一步一步高めてゆくしかないので、今後ともご協力をよろしくお願ひ致します。

本年も職員は心をつにして安全で満足度の高い医療を目指します。皆さんのご協力とご支援をよろしくお願ひ申し上げます。



右側の建物が今年取り壊される予定の北館（旧健康管理センター）です

新年のご挨拶

分院長 熊田 博光

新年明けましておめでとうございます。
2010年も宜しくお願いいたします。

今年の干支は、虎の門病院の寅！です。

昨年(2009年)は、皆既日食が日本でも観ることができ大勢の方がテレビの画面でご覧になったのではないのでしょうか。私自身もニュースで見ましたが46年前(1963年)の幼少時に観たままの現象でした。自然というのは、幾年月経っても変わらぬままでありその美しさに思わず感動し勇気付けられるものです。しかし、医療現場は、日進月歩でその場に踏みとどまることができません。常に新しい知識が必要とされ総合的な判断力で診断していかなくてはなりません。その知識や経験を学ぶ環境として虎の門病院に隣接した財団法人沖中記念成人病研究所があり、研究には恵まれた環境にあります。また、分院には各科に研究室が存在し日夜臨床と研究ができる環境を整えています。この研究システムは、若手の医師をはじめとして医師の育成のために設けられており虎の門病院2代院長の沖中先生の基本理念を引き継いだものです。最新の医療技術と診療をするためには、その時代の最先端の治験を行える施設であることも大切です。お陰様にて当院は、厚生労働省より治験拠点病院として認定されました。この治験拠点病院は、様々な機能を求められておりますが、新しい治療・医療技術を世の中に先駆けて治験事務局・治験コーディネーターが常に薬剤・医療機器の勉強を行い患者様へ新しい説明ができるようにしております。2010年2月13日(土)には、治験公開講座として「最新の肝臓病(慢性肝炎・肝癌)の治療と治験状況など」を開催いたします。

国内初の医師・看護師をはじめとした医療技術者の養成所としてシミュレーション・ラボセンターの存在も国内の病院に知られるようになり様々な活動を行っております。このようにして日々診療に精進できることとなりました。本年から新たに血液内科(和気敦先生)を創設いたします。主に白血病や悪性リンパ腫の治療を行えることとなりました。内科総合診療科の呼吸器科は、睡眠時無呼吸外来をはじめ肺癌治療

など積極的な治療を行っております。内分泌代謝科は、糖尿病・高脂血症(高コレステロール血症・高中性脂肪血症)などの診療を行い、特に糖尿病の食事療法も行っております。腎センター内科では、従来透析をはじめとして透析合併症のひとつである多発性のう胞腎・肝のう胞に対しても治療を施行し良好な効果を与えています。リハビリテーション科では、全身管理に重点を置き神経内科・整形外科・内科総合診療科との連携のもとで発症ないし手術日から2ヶ月以内の脳卒中などの神経疾患、骨関節疾患の術後のリハビリテーションを行っております。

市民公開講座も3ヶ月ごとに開催し最新の情報を発信してまいりますので、皆様ご参加ください。

分院の院庭は、四季折々の描景を映し出しとても風情があります。2010年もこの院庭が私たちを包み込んでくれることと思います。

分院は、小粒な病院ですがぴりりとしたそんな病院にできるよう今年もがんばります。



<分院正面玄関>

先端巨大症の治療のいま

—手・足・顔 ちょっとした症状を見逃さないで—

間脳下垂体外科部長

山田 正三

その名の通り成長ホルモン（以下GHと略します。）は身長が伸びる上で必要不可欠なホルモンですが、全身の色々な代謝にも関連する重要なホルモンです。このホルモンが体内で過剰に産生され、結果的に血液中に過剰に放出されると、成人前では桁外れに背の高くなる巨人症という状況になります。また身長が増加が止まる成人以降にこの状況になると四肢の骨末端が肥大する先端巨大症と呼ばれる特有の容貌を呈する状態になります。

いずれの状態も外見上の変化が眼につきますが、実はこの状況を放置する（未治療でいる）と糖尿病、高血圧、癌などと言った命に関わる病態を高率に合併し、この病気の無い人と比べて平均寿命で約10年程度短命になると言われているとても怖い病気です。

しかし同時に、GH過剰状況を正常に戻すことでその後の死亡率は正常人と変わらなくなることにもわかっています。従って病気が進行し重篤な合併症を生じる前に治療を行い、出来るだけ早期にGH過剰状況を正常化することが極めて重要となります。

GHは脳の深部、鼻の奥にある小豆大程度の下垂体と言われる小器官で産生、分泌されています。そしてこの下垂体にGHを産生する腫瘍（GH産生下垂体腫瘍）が出来るとGHが過剰に産生され、巨人症・先端巨大症と言った病気になる訳です。治療としては、腫瘍を外科的に切除することが一般的に世界で広く行われている治療方法です。

しかし腫瘍が極端に大きい場合や、周囲の重要な血管等に浸潤している場合などでは外科的に完全に腫瘍を摘出することは困難となります。

現在でも外科的切除のみで完全に血中のGH値が正常化に至る患者さんは手術を受けられる患者さんの60～80%程度となっています。このため、手術のみでは治癒出来なかった患者さんや、全身合併症のため、手術が始めから出来ない患者さんでは手術療法以外の治療が必要となります。

以前はこのような場合、放射線照射しか方法が無かったのですが、近年、腫瘍からのGHの

間脳下垂体外科部長

山田 正三 昭和52年卒



<専門分野>

下垂体腫瘍を中心とした間脳下垂体疾患の治療

<所属学会等>

日本間脳下垂体腫瘍学会・理事

日本脳神経外科学会評議員・専門医

日本内分泌学会評議員 日本内分泌病理学会評議員

日本脳腫瘍病理学会

産生を押さえるお薬や、末梢でGHが作用する部位をブロックするお薬等が開発され、臨床の場で使われる様になっています。また放射線治療もより副作用の少ない方法が行われる様になっています。これら薬物療法は症例によっては極めて有効な治療方法であり、一部の患者さんでは手術に取って代わる最初に選択される治療方法となってきていますが、大変高価である点が最大のネックとなり、適応のある患者さんでも多くは経済的な理由で使用出来なかったのが実情です。しかしこの度、国の特定疾患に認定され、医療費助成制度が施行されるようになり、経済的な点をあまり気にすること無く使用することが可能になりつつあります。また新しいお薬の治験も計画されており、将来治療法の選択枝が更に増えることを願いつつ当施設でも患者さんの同意のもとこのような治験に参加しています。この病気はその特有の容姿から発見が可能な病気であり、関連する医療従事者への啓蒙活動も重要ですが、一般の方々もぜひこの病気のことを知って頂くことが全体として早期発見早期治療率を向上させることにつながります。

以上の点を講演会では具体的事例を示しつつお話させていただきます。

白血病（骨髄・臍帯血移植）を 乗り越えるための新たな取り組み

血液内科医長 和気 敦

こんにちは。血液内科の和気です。といっても、「血液内科ってなに？」と戸惑われる方も多いと思いますので、まずは血液内科についてお話をさせてください。血液内科は、肝機能が悪いとか血糖や脂質が高いとか、採血で異常があった全てを担当しているわけではありません。国が定める標榜科にはない専門科で、病院によって、「血液科」、「血液腫瘍科」など様々な呼び名があります。「内科」の一部の医師が担当している場合もあります。

血液内科では、血液細胞の異常と、血液中の一部のタンパクの異常を扱っています。血液細胞とは、血液中にある白血球（細菌など病原体を殺します）、赤血球（体のすみずみまで酸素を運びます）、血小板（出血を止めます）などでなりたっており、その多くは「骨髄」という骨の内部にある「造血幹細胞」という母細胞からつくられています。血液タンパクの異常とは、血液中の液体成分に溶けこんでいる免疫グロブリン（抗体）という物質や凝固因子という血をとめる糊のような物質の異常のことをいいます。

ひとことで異常といっても、生まれつきのもので大人になって起こるものもありますし、増えたり減ったり、良性や反応性のものだったり悪性（いわゆる「がん」の一種です）のものだったり様々です。たとえば表題にある「白血病」は、白血球が「がん」になってしまった状態で、異常な白血球が勝手にどんどん増えたり普段いないところに居ついたりする病気です。血液の「がん」には、ほかに、白血球のひとつであるリンパ球が「がん」になって主にリンパ節が腫れてくる「悪性リンパ腫」や、骨髄中で免疫グロブリンをつくっている形質細胞という細胞が「がん」化して異常な免疫グロブリンができる「多発性骨髄腫」という病気などがあります。いずれも数千人から数万人にひとりというあまり多くない病気ですし、血液細胞や血液タンパクに異常があればすべて「がん」というわけではありません。たとえば「貧血」はもっとも代表的な赤血球の異常ですが、もっとも多いのは、「鉄欠乏性貧血」という、赤血球の材料不足でおこる貧血で、成人女性では軽症のものから含めると10人にひとりくらいという

血液内科医長 和気 敦 昭和62年卒



<専門分野>
造血幹細胞移植、白血病
リンパ腫全般、
成人T細胞白血病（ATL）

<所属学会等>
日本内科学会内科認定医・指導医
日本血液学会専門医・指導医
日本造血細胞移植学会評議員
日本臨床腫瘍学会暫定指導医、アメリカ血液学会会員

大変多い病気です。

わたしたち血液内科では、「貧血」の患者さんから「白血病」の患者さんまでおつき合いさせていただく中で、良性の病気であることを祈りつつ、仮に患者さんが「白血病」のような血液の「がん」になってしまったとしても、その病気に打ち克ってよりよい人生を生き抜いていただけることを目指しています。たとえば「白血病」の治療は、「抗癌剤」というがん細胞を殺す薬が主体ですが、この治療は「骨髄抑制」という、正常な血液細胞が一時的に減ってしまう副作用やいろいろな臓器障害を起こします。また、抗癌剤だけでは治らない患者さんには、「移植」という他人（ドナー）の骨髄や臍帯血などの造血幹細胞を輸注する治療法で治癒を目指しますが、移植片対宿主病（GVHD）という反応やいろいろなウイルス感染の制御が必要になります。当院ではここ数年、全国で最も多くの移植を行っています。治す方法だけでなく輸血を含めた副作用軽減や癒す方法を含め、新旧問わずさまざまな治療法をてがけていきたいと考えています。

そのひとつの方法として、わたしたち血液内科は、新しい薬や新しい治療を導入する「治験」あるいはより安全で効果的な治療を目指す「臨床試験」という取り組みをおこなっております。いずれも医療サイドと患者さんとの理解と協力の上で成り立つ治療開発の方法ですので、当日はその紹介をさせていただきます。

☆ 日帰りドック季節割引

混雑の少ないこの時期に、ご利用をお待ちしています。

対象受診期間 2010年1月4日～4月30日
 対象者 日帰りコースの全ての受診者
 料金 通常料金より
 一律3,150円引き

| | 通常料金 | 3,150円引 |
|-------|---------|---------|
| 胃X線 | 68,250円 | 65,100円 |
| 胃内視鏡 | 68,250円 | 65,100円 |
| 胃検査なし | 51,450円 | 48,300円 |



インターネット予約割引

☆ 1泊ドックBコース割引 (新規)

日帰りコースの検査内容に、ご希望の多い婦人科検査をセットし1泊コースとしてご用意しました。

対象受診期間 2010年2月4日～3月25日の毎週木曜日、計7回
 対象者 Webからの予約で本コースを希望する女性、個人の方※1
 コース 通常の日帰りコースの内容にABIと従来オプションの
 子宮がん検診・乳がん検診・骨密度検査をセット
 (検査内容の変更・選択はできません)

時間 1日目 13:30開始～16:00頃終了、2日目8:00開始～10:00過ぎ終了
 ホテル KKRホテル東京
 料金 通常料金より10%引き



私たちがお迎えます！

| | 通常料金 | 10%引 |
|------|----------|----------|
| 胃X線 | 122,850円 | 110,250円 |
| 胃内視鏡 | 122,850円 | 110,250円 |

料金に含まれるもの：上記セットコース料金、ホテル1泊、夕食1回、ホテル送迎

☆ 日帰りドックペア割引 (新規)

お二人でお申し込みいただくだけでお得！
 ご夫婦・ご兄弟・友人等どなたでもどうぞ

対象受診期間 2010年2月1日～3月31日
 対象者 Webからの2人同時予約、個人の方※1
 コース 通常の日帰りコース
 時間 8:00開始、9:00開始よりお選びください。
 料金 通常料金より10%引き



* お二人同日が条件です。キャンセル・変更等で同日受診でなくなった場合は、季節割引料金とさせていただきます。

| | 通常料金 | 10%引 |
|-------|---------|---------|
| 胃X線 | 68,250円 | 61,430円 |
| 胃内視鏡 | 68,250円 | 61,430円 |
| 胃検査なし | 51,450円 | 46,310円 |

1泊ドックBコース割引・日帰りドックペア割引のご注意

- ※1) 個人の方とは、団体加入以外の方です。会計窓口で各種共済・健保組合等の割引助成制度との併用は出来ません。
- * ご予約はインターネットのみです。
- * 先着順でいっぱいになりましたら終了とさせていただきます。
- * オプション検査料金は割引対象外です。

問い合わせ先

虎の門病院附属
 健康管理センター・画像診断センター
 ■ <http://www.toranomon-dock.jp/>
 ■ 電話 03-3560-7777
 (平日11:00～16:30)

ロマネスク寺院の村サン・サヴァン

元精神科部長 栗原 雅直

今回の旅行では、フランス中部のサン・サヴァンを訪れた。そこに中世ロマネスク時代の天井画で有名な教会があるが、パリの国際大学都市「日本館」の館長だった吉川逸治先生がこの教会を研究した話を、50年前の留学中から聞いていた。たまたま私の家内がテレビの世界遺産番組を見て興味を持ったこともあり、問題なしに目的地として決まったのであった。

この小さい村の人口は900人足らず。パン屋が1軒、乾物屋兼肉屋が1軒、文房具とみやげ物の店も1軒きりない。タクシーが着いたとき、ホテルのドアはクローズ状態だったので、一時は途方に暮れた。矢印が示す通り中庭の階段を上ると、そこは食堂だったが、そこも無人。受付の呼び鈴を鳴らして、やっとホテルのオーナーにお目にかかることが出来た。部屋に引っ込んで子供と遊んでいたのだった。一泊朝食付き1人7千円の安宿なのだが、3階の屋根裏部屋はまあまあ広くて清潔だったので、ひとまず肩の荷が下ろせたのであった。

翌日は朝から教会訪問。天井画のすばらしさは予想以上だった。1100年頃から三、四年の短期間に、ごく少数の芸術家が描いたらしく、画風の統一がとれている。この地区はフランスの中心部を外れていたため、百年戦争のときも無事だった。天井画もまた過度に修復せず原画の印象を損ねないよう心がけたため、剥落部分もおそらく昔のままで、まるで時が十二、三世紀まで巻き戻ったような印象があった。まさに世界遺産の名にふさわしい。

天井画に旧約聖書のいろいろな物語が描かれていた。案内書と首っ引きで、ストーリーを連れたちに講釈できた私は、得意だった。バベルの塔は、石を滑車で積み上げる場面だったが、塔が脇で働いている人とそんなに違わないで描かれていたことが、マンガチックで面白かった。稚拙に見えるところが、実は技なのだろう。

三層の屋形船の形をしたノアの方舟には、上層が人間、中層がトリ、最下層には家畜たちが、それぞれペアで乗船している。洪水が引いたことを確認するため、ノアに放たれたハトは、オリーブの葉をくわえて戻ってきた。そういった場面の解説にも自己満足できた。

ノアが裸で眠りこけている画があった。舟に積んだブドウの種を撒き、その実を収穫してブドウ酒を作る。それが人類最初のアルコールなのである。600歳のノアはブドウ酒を飲んで、素っ裸の

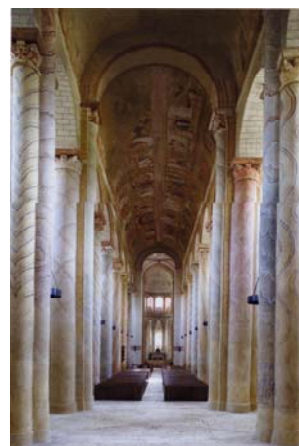
まま眠りこんでしまった。彼が人類最初の酔っぱらいということになっている。

息子のハムがそれを見つけ、他の兄弟たちに知らせたことによって問題が起こった。弟のセムとヤペテは、父親の衣類を拾って、裸姿を見ないように後しざりで近づき、ノアの身体を覆った。目覚めたノアはこれに気づいて、大いに怒り、裸姿を見た孫のカナンをのろって、未来永劫兄弟たち一族の僕になって仕えよ、と命じたのである。

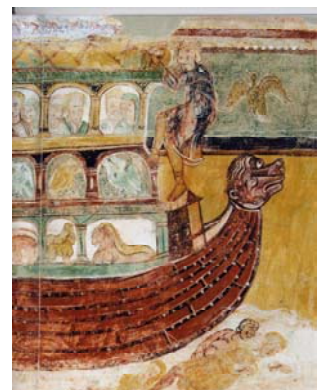
実はこれは私のお気に入りの話なのである。素っ裸を見られ自分の酔態を恥じ入るどころか、孫をその末裔にいたるまで呪ったということは、キレた酔っぱらいのたわ言としか思えない。もっともバイブルのお話は、不条理ではあるが、同時に人間心理の深い洞察に基づいており、現実にもそんなことはよくあるとも言える。

サン・サヴァンに1軒だけのミシュラン1つ星のレストランを訪れたが、田舎には信じられないゴージャスな雰囲気と味、そしてお値段の安さだった。とくにフォアグラは珍味、皆さんにもお勧めしたい。

ホテルの男前オーナーは、実は北イタリアのヴェローナの出身（ロメオとジュリエットで有名）。あなたの色男ぶりは、アラン・ドロンかと思ったが、実はロメオだったのかと冷やかして大いに笑った。もっとも5人の子持ちでは、日本のご婦人が口説いても詮がなかったのではあるが。



(サン・サヴァン教会の内部)



(ノアの方舟)



(バベルの塔)



(酔っぱらいのノア)

虎の門病院からのご案内

初診時より効果的な診察ができますよう、可能でしたら他病院からの紹介状をご持参ください。紹介状をお持ちにならない場合は初診時選定療養費(本院5,250円、分院3,150円)をお支払いいただきます。

| 本院診療受付時間(初診) | |
|--------------|---|
| 内科 | 8:30 - 10:30 |
| 小児科 | 8:30 - 11:00 |
| 皮膚科 | 8:30 - 10:30 |
| 麻酔科 | 13:00 - 14:30(水以外) |
| 外科 | 8:30 - 11:00 |
| 脳外科 | 月曜～金曜 8:30 - 11:00 月(第2・4)・金 13:00 - 14:30 |
| 整形外科 | 8:30 - 10:30 (紹介状があり予約された方は予約時間に合わせてお越しください) |
| 形成外科 | 8:30 - 10:30 |
| 産婦人科 | 8:30 - 10:30 |
| 泌尿器科 | 8:30 - 10:30 |
| 耳鼻咽喉科 | 8:30 - 10:30 |
| 眼科 | 8:30 - 10:30 |
| 歯科 | 8:30 - 10:30 |

* 整形外科予約直通: 03-3583-1406(受付時間14:30 - 17:00)

虎の門病院 本院

〒105-8470 東京都港区虎ノ門2-2-2
TEL 03-3588-1111 (代)
地下鉄銀座線虎ノ門駅3番出口 徒歩5分
車でご来院の方: 有料駐車場があります
(30分: 300円 患者さん割引あり)

虎の門病院 分院

〒213-8587 川崎市高津区梶ヶ谷1-3-1
TEL 044-877-5111 (代)
田園都市線梶ヶ谷駅より徒歩15分
宮崎台駅よりバス5分
(1時間に3本)

さいたま診療所

〒330-0081 さいたま市中央区新都心2番1
さいたま新都心合同庁舎2号館1階
TEL 048-601-1347
JRさいたま新都心駅 徒歩5分
JR埼京線 北与野駅 徒歩8分
(診療科) 内科・精神科・歯科
平日 AM 9:00~11:30 PM 1:30~4:00



全面禁煙

当院は5月11日より敷地内全面禁煙となりました。ご協力お願いいたします。

ホームページアドレス <http://www.toranomon.gr.jp>

| 分院診療受付時間(初診) | | |
|-------------------|----------------|---------------------|
| | 午前 8:30-10:30 | 午後 1:00-3:30 |
| 内科総合診療科 (一般内科) | ○ | ○ |
| 内分泌代謝科 | 月・水・金 | 月 |
| 呼吸器科 | 金 | 水・木(第1・2・5) |
| 肝臓内科 | 週による | 週による |
| 消化器内科 | × | 水 |
| 神経内科 | 月 | 水 |
| 腎センター(内科) | 月・火・水・木 | 月・火・金 |
| 腎センター(外科) | 月・火・金 | × |
| 精神科 | × | 月・火・水・木 |
| 循環器センター | × | 水(第1) |
| 外科 | 火・木(第2・4)・金 | 火・水 |
| 整形外科 | ○ ※月は午前10時~ | × |
| 皮膚科 | × | 火(第2・4) ※午後1時~2時 |
| 小児科 | × | 月・水・金 |
| 泌尿器科 | × | 木 |
| 歯科 | ○ | ○ |

予告なく変更することがありますので、診療前に電話等で各科の診療の有無を確認の上、ご来院ください。

人間ドック・脳ドックに関するお問い合わせ

虎の門病院附属
健康管理センター・画像診断センター
(直通) 03-3560-7777 (平日11:00~16:30)
ホームページ <http://www.toranomon-dock.jp/>

当院でセカンドオピニオンの 提供を受けたい方へ

他の病院におかかりの患者さんで、ご自分の病状や治療方針について現在おかけの医師以外の意見をお求めの方へ対し、当院各科専門医(部長・医長クラス)による特別相談をお受けしております。(完全予約制)

(料金) 30分: 21,000円 (延長15分毎: 10,500円追加)

本院医療連携部 03-3588-1111 内線4106

分院医療連携部 044-877-5111 内線5141